

次代につなぐ 森づくり

「豊かな森林を次の世代へ」
市民参加の新たな

森づくり・春植樹祭が

5月27日に津山町大萱沢^{おおかやさわ}地内の

市有林で実施されました。

この事業は県のみやぎ環境交付金を

活用して実施したものです。

約150人が参加した植樹祭の

様子を紹介します。

(18～19ページ)



植樹作業は、参加者にとって良い思い出
になったに違いありません

創 石越小学校で記念植樹 立140年の記念に

石越小学校で6月7日、創立140年記念事業の一環として、児童全員で桜の木の植樹が行われました。記念植樹は、来年の創立140年記念を前に、倒木の危険がある校庭のソメイヨシノを伐採したことから、新たにヤマザクラを2本を植樹したものです。佐藤謙一校長は「明治6年に石越小学校が始まって今年139歳になります。来年が140歳の記念の年ですが、サクラは来年まで待てないので今日みんなで植えたいと思います」と話し、児童は2班に分かれて、細い桜の苗木を大事に植えていました。



▲細い桜の苗木を大事に植える子どもたち

団 平成24年度登米市南方大運動会 結して勝利を目指す

登米市南方大運動会が6月3日、南方中央運動広場を会場に行われました。当日は、天候にも恵まれ町内の28全行政区が参加し、熱戦が繰り広げられました。玉入れや百足競走、仲良しリレーなど、子どもからお年寄りまで一緒に楽しめるように工夫を凝らした各種競技で手に汗握る熱戦が繰り広げられました。応援席のテントからは声援や笑い声があふれ、スポーツを通して地域の絆を深めた有意義な1日となりました。白熱した競技が繰り広げられた結果、砥落行政区が優勝の栄冠を手に入れました。



▲子どもからお年寄りまで、各種競技を楽しみました

チ 第37回津山町行政区対抗ソフトボール大会 ームワークで優勝を目指せ

津山河川運動場で6月3日、「第37回行政区対抗ソフトボール大会」が開催されました。この大会は毎年恒例の行事として開催されていましたが、雨天や震災の影響による中止が続き、4年ぶりの開催となりました。久々の開催とあって、選手たちはプレーを楽しみながらも優勝を目指して熱戦を繰り広げ、心地よい汗を流していました。どの行政区も素晴らしいプレーを見せた中で、「本町四丁目チーム」が見事優勝に輝き、「宮城ヘルシー 2012ふるさとスポーツ祭登米管内大会」への出場権を手に入れました。



▲各チームともプレーを楽しみながら心地よい汗を流していました